



はるか

富谷市立目吉台中学校
学校だより 第7号
令和5年8月31日
富谷市目吉台三丁目19-2

「文化活動発表会」を実施しました

8月25日（月）に「文化活動発表会」を実施しました。発表の一部を掲載します。

生徒会サミットの報告

8月7日（月）に第7回富谷市生徒会サミットが行われました。今回の生徒会サミットでは、富谷独自の「富谷子ども憲章」を定めることが目的となっていました。富谷市5校の生徒会の代表が集まり、富谷市の「子どもにやさしいまちづくり宣言」という取組に対する要望や私たち中学生にできることについて3つの議題を元に議論を行いました。

1つ目は、「子どもが安心安全に暮らすことができるまち」についてです。この施策についての中学生にできることとして、1つ目は身の安全を守るための意識を高め行動に移すこと。例えば自転車に乗る際のヘルメットの着用など。2つ目は個性を尊重して互いに認め合うこと。3つ目は幅広い世代と交流を深めることの3つだと考えました。次に富谷市への提案として長時間活動できるような施設の運営、心身や安全に関する講演会の開催、学校や通学路など身の回りの環境の安全確保の3つです。これらを活性化すると子どもが安心安全に暮らすことができるまちの実現につながると考えました。

2つ目は、「子どもが友達と交流し、楽しく遊び学べるまち」についてです。このテーマについての中学生にできることは、施設ではルールを守り利用する。市内の様々な施策・イベントに積極的に参加する。校内でのコミュニケーションの活発化の3つだと考えました。校内でのコミュニケーションの活発化につきましては、学校行事を通して他学年との交流の活発化を図っていこうという内容です。次に富谷市の方へ、市内のイベントの計画、それらのイベントや市内での出来事を、広報やポスターで情報発信してもらうことを提案しました。広報やポスターでの情報発信につきましては、目に見える形で市内の出来事をお知らせすることで、市民の方々が分からないことが減り、富谷市への信頼度も高まるのではないかと考えました。

3つ目は、「子どもの意見を聴き、まちづくりに活かすまち」についてです。このテーマを実現するために私たち中学生にできることとして、次の3つのようなことを決定しました。1つ目は、アンケートを募集し、市へ提出する。2つ目は、現在富谷市が行っている施策を積極的に発信する。3つ目は、市の取組に参加するです。

次に富谷市への提案についてです。私たちのグループは2つ提案しました。1つ目は、若者の利用者が多いSNSやホームページを通して政策の発信。2つ目は、各学校でアンケートを回収し、それをもとにした政策の検討。以上の2つを市に提案させていただきました。これらのことをすることで、これまでより更に市への関心が深まり、私たちが住むこの富谷市をよく知ってもらうきっかけになると考えました。

すてきな大人になるための3つの「あ」「あいさつ・あきらめない・あいてのために」

来年度の第8回生徒会サミットでは、今回の第7回で話し合った内容をもとに、5校共通で行うアクションプランを企画していく予定です。そして、これから約3年をかけて、市内5校の生徒会と市の担当者方や市長を交えて話し合いを行い、富谷子ども憲章を作る予定です。

台湾研修発表

学校訪問

現地の学校との交流では、桃園市私立有得雙語中小學に行きました。バスから降りると沢山の生徒や先生方に出迎えられ、歓迎会が行われました。その会場には小学校中学年位の児童から中学生までがいました。私達は宮城県や富谷市の紹介をし、市民歌やダンスのパフォーマンスを披露しました。そして、学校の生徒の皆さんがダンスパフォーマンスや歌を披露してくれました。その歌はアンジェラ・アキの「手紙～拝啓 15の君へ～」で2番から日本語で歌ってくれたことがとても感動しました。その後、通称漁師網バッグと呼ばれるバッグをいただきました。これは日本と縁のあるかぎ編みという技法で作られているそうです。そして歓迎会が終わり、その日お世話になるバディを2人ずつ紹介され彼らと一緒に早速、授業を受けました。

1時間目は体育でバスケットボールを行いました。言葉が通じなくとも、とても楽しかったです。

2時間目の美術では、台湾の伝統的な模様をペンや絵の具を使って描きました。そこではグループになり、ペンを一本使うだけでも譲り合い、誰かが困っている時は、みんなで手伝いました。

給食の時間になりました。学校では給食中いつも動画を見るそうで、スクリーンで日本語の勉強を楽しそうにしていました。その姿から「日本を好きなんだな」と感じました。

昼休みには、沢山写真を撮ったり、連絡先を交換したり、ゲームで遊びました。

午後からの理科の授業では、手回し発電機を作りました。上手く作れず、困っていたところ、「大丈夫？」と隣の席の生徒が声をかけてくれました。私は大丈夫じゃないことを伝えると、私の発電機を取り、部品を追加しながら黙々と作ってくれました。

私はこの学校訪問での体験を通して、声かけや心遣いの大切さを学びました。困っている人がいたら、日吉台中学校でも全校生徒がお互いに声を掛け合える関係創りができたらいいなと思いました。

B & Sプログラム

僕はB & Sプログラムという項目について話します。このプログラムはあらかじめ事前研修で決まったそれぞれ違う学校の生徒の集められた班と台湾の大学生とで台北市を回るプロジェクトです。まず僕たちが最初に行ったのは、このプロジェクトに参加してくれた台湾の大学生への感謝の言葉です。

その次に決められた番号のところへ行き、大学生の名前の確認や自分たちの名前の確認を行いました。この頃すでに13時を回っていたので、名前の確認などが終わり次第、各自お昼ごはんを食べに行きました。僕たちの班は西門町というところへ行き、ルーローハンを食べました。他にもかき氷などを食べた後には、お土産を買ったり、ゲームセンターなどで遊んだりしました。

その次に中正紀念堂へ行きました。ここには古くからあるとても大きな建物が2つありました。特に記憶に残ったのは、兵役の交代です。しかし、少し遅れてしまい兵役の交代を最初から見るができずがっかりしました。ここで僕は時間の大切さを学びました。

兵役の交代が終わってすぐに、「海霸王」というレストランへ、行きました。ここでお昼の時に解散した全員が集まり食事を行いました。ここで驚いたのは、食文化の違いです。

すてきな大人になるための3つの“あ” 「あいさつ・あきらめない・あいてのために」

日本では基本的に出されたものは食べ切るのが普通ですが、台湾では自分たちの好きなものを好きなだけ頼んでお腹いっぱいになったら残すということです。料理は基本的にどれも美味しかったです。

最後には士林夜市へ行き、ここでもお土産を買ったりした後はプログラムが終わりました。このB&Sプログラムではさまざまなことを経験することができたので良かったです。

美術作品鑑賞



英語暗唱

吹奏楽部演奏

受賞・入賞おめでとう！

宮城県中学校総合体育大会 バドミントン競技男子シングルス 第5位
宮城県吹奏楽コンクール予選多賀城・石巻地区大会 中学生小編成の部 金賞
宮城県吹奏楽コンクール 中学生小編成の部 銀賞
TOMIYA カップ中学生夏季ソフトテニス研修大会 2学年男子の部 第3位
富谷黒川地区中学校英語暗唱・弁論大会 暗唱の部 最優秀賞
優秀賞

9月の主な行事予定

5日 (火) 前期期末考査 (~6日)	18日 (月) 敬老の日
8日 (金) 専門中央委員会	23日 (土) 秋分の日
9日 (土) 県新人水泳大会 (~10日)	27日 (水) 新人壮行式
12日 (火) 仙台地区英語暗唱・弁論大会	30日 (土) 地区新人大会・3年実力考査
14日 (木) 生徒会立ち会い演説会・選挙	~10/1 (日)

「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムを整え、免疫力を高めよう